

平成 15 年度第一回拡大幹事会

・日時

平成 15 年 10 月 2 日（木） 午前 10 時～正午

・場所

香川大学・工学部・2208 会議室

・出席者（敬称・役職略）

堺孝司，草薙悟志，伊藤友喜，増島隆夫，橋本親典，山地忠孝，吉田幸信，吉田秀典（議事録）

・欠席者（敬称・役職略）

氏家，島，天羽，横井，

・配布資料

1 - 0 会議次第

1 - 1 四国地区のコンクリート構造物の非破壊検査・調査に関する研究委員会 活動報告

1 - 2 四国のインフラの将来に関する研究委員会

1 - 3 見学会実施計画

1 - 4 講習会の提案および JCI2004（高知）のテクノプラザ出展の提案（橋本）

・議事

1．会長挨拶

2．委員会報告（2件）

（1）四国地区のコンクリート構造物の非破壊検査・調査に関する研究委員会

「四国地区のコンクリート構造物の非破壊検査・調査に関する研究委員会」の活動報告に関して，資料 1 - 1 に基づき橋本委員長より説明があった．なお，本委員会は今年度が 2 年目にあたるため，今年度が最終年度である．

（2）四国のインフラの将来に関する研究委員会

「四国のインフラの将来に関する研究委員会（委員長 = 堺会長）」の活動報告に関して，資料 1 - 2 に基づき草薙幹事長（研究会副会長）より説明が，また，堺委員長（研究会会長）より補足説明があった．なお，本委員会は今年度が初年度である．

3．講演会・講習会計画

「四国のインフラの将来に関する研究委員会（委員長 = 堺会長）」では，次回委員会において荒木氏（元高知工科大学）の招聘を予定しているが，平成 15 年 12 月 3 日（水）に講演会として開催してはどうかという提案が堺委員長（研究会会長）よりあった．下記の見学会との兼ね合いもあるが，この方向で検討することとなった．この案件については，「四国のインフラの将来に関する研究委員会」の草薙幹事長（研究会副会長）と講演会・講習会担当者で調節して頂くこととなった．

また，資料 1 - 4 に基づいて，講習会（土木学会コンクリート委員会：コンシステンシー指標評価小委員会（委員長 = 研究会 橋本 常任委員）との共催）および JCI2004（高知）のテクノプラザ出展の提

案が橋本委員よりあった。講習会については土木学会と四国コンクリート研究会の共催として頂くこととなり、詳細については講演会・講習会担当者に連絡をとり調節して頂くこととなった。JCI2004（高知）のテクノプラザについては、研究会の概要（組織，活動，研究委員会）紹介や法人企業のパンフレットを設置するなどが考えられ、展示の方向で検討することとなった。したがって、橋本委員に具体案を作成および資料を提示して頂くこととなった。

4．見学会計画

今年度開催を予定している見学会（豊島・直島の産業廃棄物施設）に関して、講演会との兼ね合いもあり、平成15年11月3日の週に開催できるように調整して欲しいとの要請が堺会長よりあった。海上タクシーの予約や処理施設の受け入れ収容人数などの関係上もあることから、早速、調整することとなった。

5．四国コンクリート研究会の活動について

堺会長より、今後の四国コンクリート研究会の活動の方向性に関して、出席者に意見が諮られた。主な意見は以下の通りである。

伊藤 ：アセットマネージメントを行うためには、既存コンクリート構造物の評価をしなければ
 ならない。

堺 ：代替骨材のフォローアップが必要になる

増島 ：リサイクル材料の利用に関する指針などが必要では？（記憶にない？）

橋本 ：防災対策としてのコンクリート構造物に関する研究が少ないのでは？海洋コンクリート
 は劣化／損傷も早い。

吉田（幸）：大震災後の復旧に関する対策がなされていないのではないかと（生コンプラント不足に
 陥るなど）マーケットの拡大に繋げたい。

6．その他

高等工業専門学校や工業高校への支援に関して、橋本先生より多度津工業高校に徳島大学・水口先生の教え子がおられるので、声を掛けていただくこととなった。

以上

（議事録：幹事長 吉田秀典）